

(令和7年4月16日～5月15日届け出分)

※届け出人が希望した人のみ掲載
※氏名は通常字体で掲載

おめでた () は保護者・字名

男の子

高田 大和田一颯 (洋介・大隅)

広田 伊藤碧音 (大貴・集)

女の子

高田 尾崎蓮 (翔太・鳴石)

米崎 笹倉理央 (建人・脇の沢)

お幸せに () は字名

矢作 村上大晟・吉田愛梨 (東角地)

高田 佐々木賢太・小坪真子 (中和野)

小友 鈴木卓・村上絵里子 (獺沢)

お悔やみ () は年齢・字名

矢作 小田巖 (91歳・出口)

岩 渕ナツ子 (94歳・元屋敷)

村 上ヨシ子 (87歳・片地家)

菊 池マツエ (88歳・下小黒山)

横田 大久保隆夫 (78歳・堂の沢)

畠 山和子 (86歳・狩集)

金 石丈逸 (81歳・黄金山)

菅 野ヒロ子 (93歳・砂子田)

笠嶋一貴 (37歳・南行)

佐藤隆一 (82歳・南行)

竹駒 齋藤章 (87歳・館)

中村友子 (90歳・館)

ふ 瀧元才平 (90歳・赤畑)

気仙 千葉静子 (93歳・愛宕下)

菅 野巖 (96歳・月山)

高田 櫻井ミヨ子 (88歳・月山)

及川利行 (85歳・鳴石)

福崎ミエ (99歳・鳴石)

佐藤ヤチヨ (98歳・大隅)

芳野貫一 (94歳・大隅)

新沼清 (88歳・法量)

米崎 菊池陽子 (93歳・東和野)

千葉昌男 (86歳・佐野)

近江東子 (64歳・糠塚沢)

佐藤輝子 (88歳・地竹沢)

長野國雄 (81歳・松峰)

小友 戸羽マツ子 (95歳・谷地館)

佐藤芳蔵 (93歳・小屋敷)

菅 野節子 (92歳・田端)

小松和賀子 (74歳・後花貝)

津田重一郎 (78歳・大陽)

数字で見る陸前高田市

(令和7年4月30日現在)

市内の火災救急活動

4月

() は1月からの累計

・建物	1件 (1件)
・林野・その他	0件 (4件)
・出動件数	82件 (376件)
・搬送人員	78人 (364人)

市の人口(住民登録人口)

() は前月比 出生・死亡数は4月分

・男 性	8,186人 (- 1人)
・女 性	8,791人 (- 17人)
計	16,977人 (- 18人)
(出生5人 死亡33人)	
世帯数7,544 世帯(+ 17世帯)	

市内の交通事故

4月

() は1月からの累計

・人身事故	4件 (10件)
・物損事故	8件 (70件)
・負傷者	4人 (16人)
・死亡者	0人 (0人)
・飲酒運転	0人 (0人)

地域包括支援
センター発

介護お茶のみ話

127



陸前高田市
高齢者補聴器購入補助金
あなたの聞こえは大丈夫ですか？

耳は多くの情報を受け取っています。聴力低下は年齢とともにゆっくり進むため、自覚の無い場合もあります。

● 次のようなことはありませんか？

- ・聞き間違えが多い、何度も聞き返すことが増えた
- ・テレビやラジオの音が異常に大きいと言われる
- ・呼びかけられても気づかない
- ・話し声が大きくなったと言われる

● 聞こえの低下はキケン！

聴力が衰えると、耳から入る情報が少なくなり、脳への刺激が減ることにより認知機能が低下します。また、会話しづらくなることで閉じこもりがちになる可能性があります。心身の活力も低下してしまいます。

● 聞こえにくいと思ったら耳鼻咽喉科を受診しましょう

聞こえにくい原因は、加齢だけでなく耳の病気の場合もあります。診察や聴力検査で耳の病気がないか、補聴器が必要かなどを専門医に判断してもらいましょう。

● 補聴器を勧められたら早めに使
用しましょう

聴力の低下を感じたら、なるべく耳に負担をかけないことが大切です。補聴器を勧められたら、早めに使しましょう。

● 高齢者補聴器購入補助金

市では①から④の全てを満たす人を対象に、補聴器購入費用の一部を助成しています。

① 満65歳以上の市民

② 耳鼻咽喉科での聴力検査の結果、補聴器を付ける耳の聴力レベルが50デシベル以上70デシベル未満の人、または片方の耳の聴力レベルが70デシベル以上で、もう片方の耳の聴力レベルが40デシベル以上50デシベル未満の人

③ 市税などの滞納がない人

④ 聴覚を事由とする身体障害者手帳の交付対象とならない人

※他にも要件がありますので、詳しくは購入前にお問い合わせください。

【補助対象費用】

認定補聴器技能者が調整した補聴器本体1台分の購入費用

【助成の上限額】

・住民税所得割非課税の人 4万円
・住民税所得割課税の人 2万円

問い合わせ先

センター (内線215) 地域包括支援

保健だより



520

子どもの頃から始める
むし歯予防！

6月4日から6月10日は、「歯と口の健康週間」です。この機会に、自身や家族のお口の健康について考えてみませんか。

● 本市の子どものむし歯の状況

下の図は、3歳児健診におけるむし歯がある子の割合です。市のむし歯がある子の割合は、過去、岩手県や全国と比較し高い傾向にあります。令和4年度のむし歯のない子の割合は、県内33市町村中6位でした。(平成29年度は県内ワースト2位)

● むし歯を予防するためにできること

① 食べた後磨く習慣をつける

「食べた後磨く」を心がけましょう。仕上げ磨きは、磨き残さないように、8から10歳頃まで必要です。

② おやつは決められた時間に

だらだら食べをすると糖分が常に口の中にあるため、むし歯の原因になります。

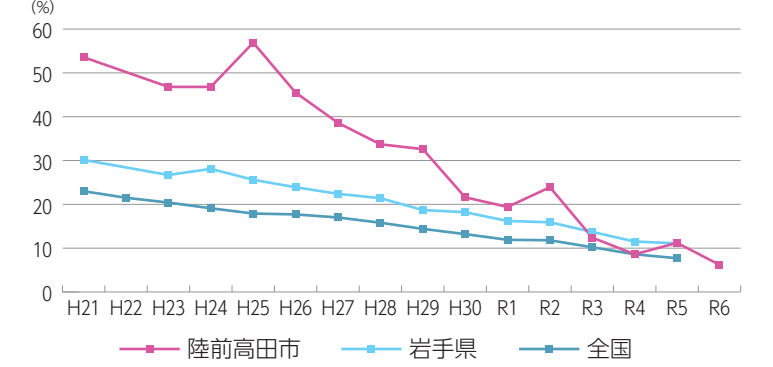
③ 定期的に歯科健診を受ける

個人にあった指導を受けることができます。幼い頃からかかりつけ歯科医を持ちましょう。

④ 市の事業を活用する

市では、対象の人に個別フッ化物塗布券、シーラント充填券を配布しています。ぜひ活用ください。

図 3歳児健診におけるむし歯がある子の割合



問い合わせ先 市役所保健課
母子保健係(内線233)